

とおちっ子

十市小学校だより第28号

令和8年1月30日

文責 藤川 尚司

今週明けに、インフルエンザによる欠席者が急増し、急遽3年生と4年生の学年閉鎖を行いました。その後も6年生でインフルエンザの感染者の増加が見られ、6年生も学年閉鎖の措置を取りました。全国的な流行状況の中、2学期後半以降はインフルエンザの感染者の急増が折々に発生し、学級閉鎖や学年閉鎖の対応を取らざるを得ませんでした。保護者の皆様には急な連絡でご迷惑をおかけし、申し訳なく思っていますが、いかなせん学校で予防に努めても感染症の流行だけは防ぎきれないのが実情で、状況に応じて対処するほかないことに苦心する毎日です。まだまだインフルエンザの流行は収まってないようです。今後も感染拡大防止の対応や各種行事等の見直しなどを要する場合があります。その際はご協力をお願いいたします。

ひとコマ

学年閉鎖などで学校だよりの発出がかなわず、ご紹介できなかった場面をいくつか。

南舎の南側の校庭で、1年生が集まってパンジーの植え付けをしていました。卒業式の会場を華やかに彩ってくれるパンジーのプランターづくりです。

たくさんのプランターに土を入れ、プランターごとに3株ずつの苗をていねいに植えてくれていました。「おなじ色ばかりにせんがで〜」「これをここに植えたらきれいかな」と話し合いながらせと植えて、たちまち全部のプランターに小さな苗が並びました。

卒業式を迎えるころには、株も太って、きれいな花がたくさん咲くことでしょう。パンジーの花たちが、6年生の門出をお祝いしてくれることでしょう。ありがとう。1年生。

職員室に先生に伴われ、4年生が訪ねてきました。タブレットを小脇に抱え、ずいぶん緊張した面持ちです。「何が始まるんだろう?」と見ていると、電話をかけ始めました。

「ああ、いつものやつだね」と納得。何かの依頼が聞き取りか、外部の方とのやり取りをするために、子どもが直接電話をかけることは、十市小学校の日常では割とよくある場面です。

今回の4年生の電話の相手は幼稚園の先生です。「防災学習の成果を幼稚園の子どもたちに紹介してはどうだろう」と発案し、協力をお願いするための電話をかけたのです。

あらかじめタブレットに打ち込んでいた原稿を基にして、一生懸命お話をする4年生の姿がなんとも頼もしく感じました。電話の後に感想を聞くと「緊張した〜」とのこと。

このあたりは4年生らしくって、ほほえましいものです。

さてさて、緊張した電話での相談の結果は…。幼稚園の先生は快く協力を引き受けてくれたそうです。ああ、よかった。しっかりと勉強して、後日幼稚園に成果を伝えに行きましょう!

多目的室に南国市消防本部の職員の方が来てくれました。2月の

末に6年生が催すことを計画している「防災フェスティバル」に向けた準備のためです。

フェスティバルは、6年生が防災にかかわるブースを設け、参加者と一緒に防災について学ぶ催しです。職員の方をお招きしたのは、消防署とタイアップしたブースを設けることを企画したチームです。このチームは、「煙体験」や「消火器体験」などを参加者と体験しようと考えています。チームのメンバーは、当日の運営や留意点などについて勉強させていただきました。

防災フェスティバルには、たくさんの機関や団体にご協力いただいています。当日まで何かとお世話をおかけして恐縮ではありますが、今しばらく、よろしくお付き合いください。

